

経営比較分析表／団体全体（平成30年度決算）

福井県 あわら市

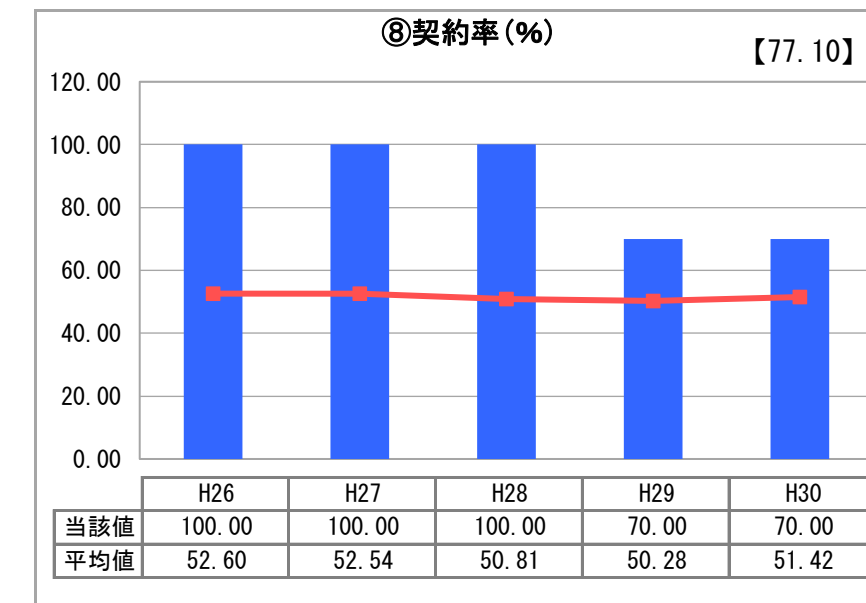
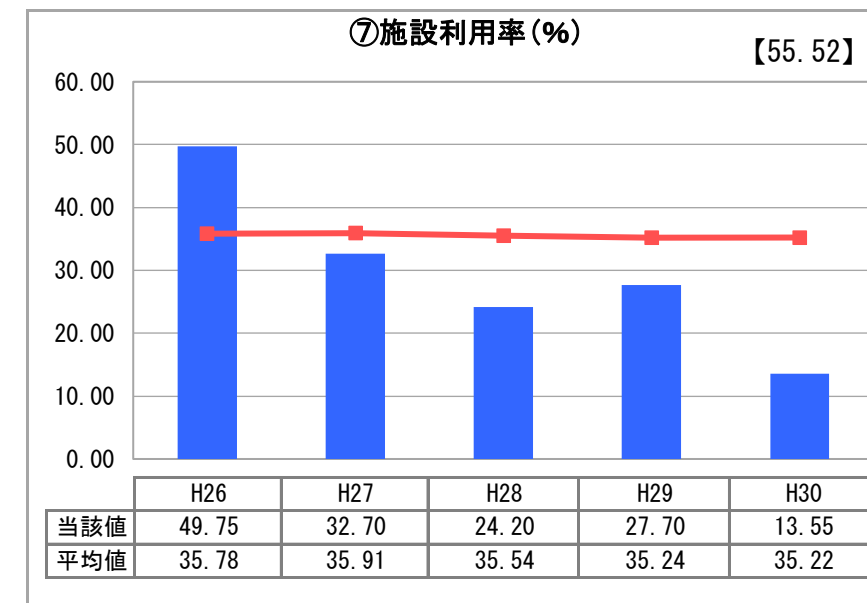
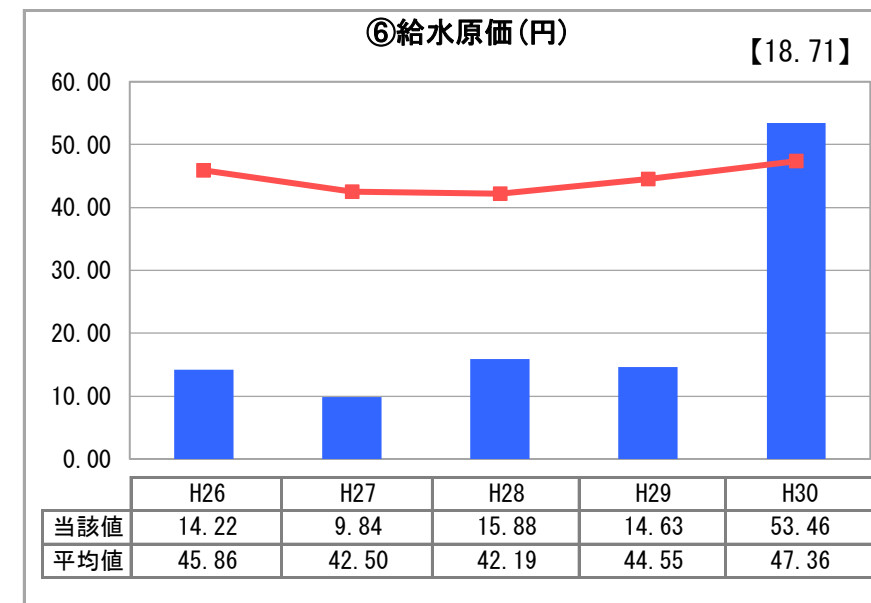
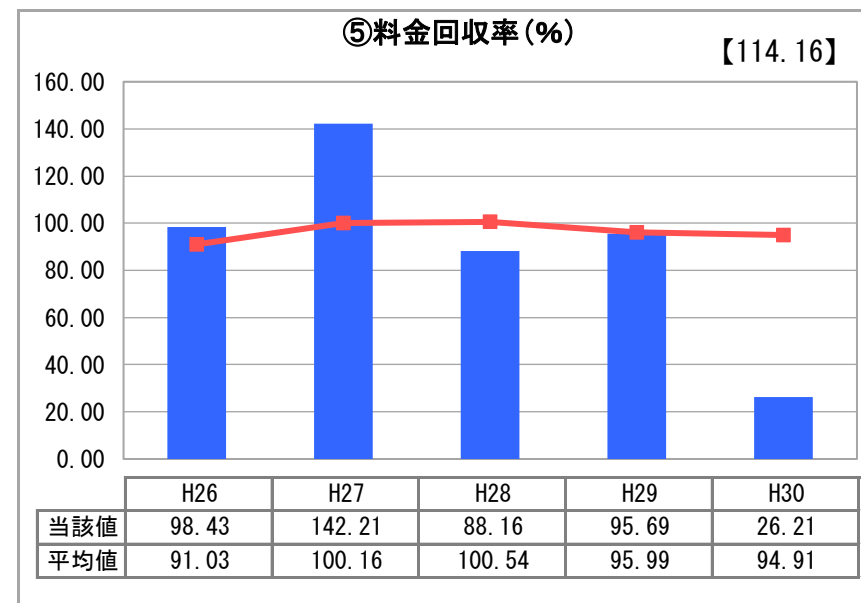
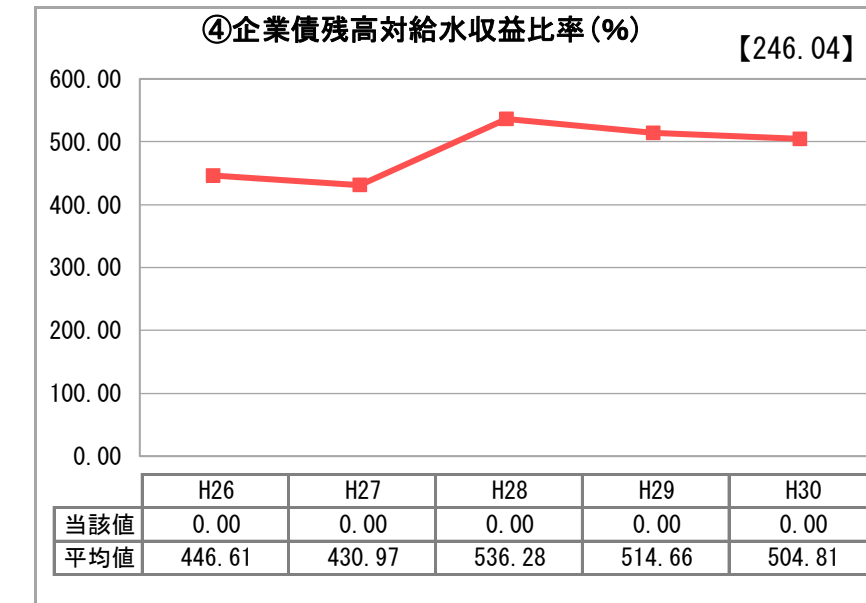
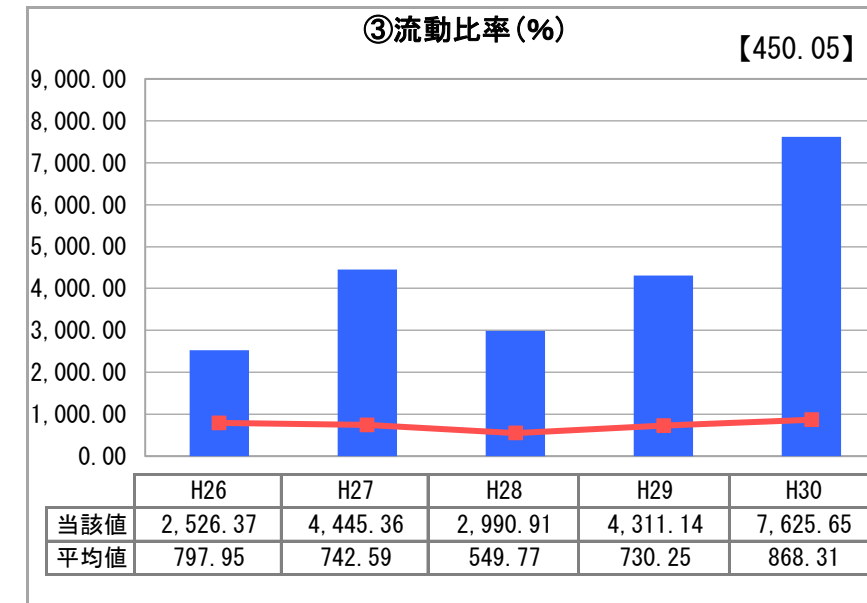
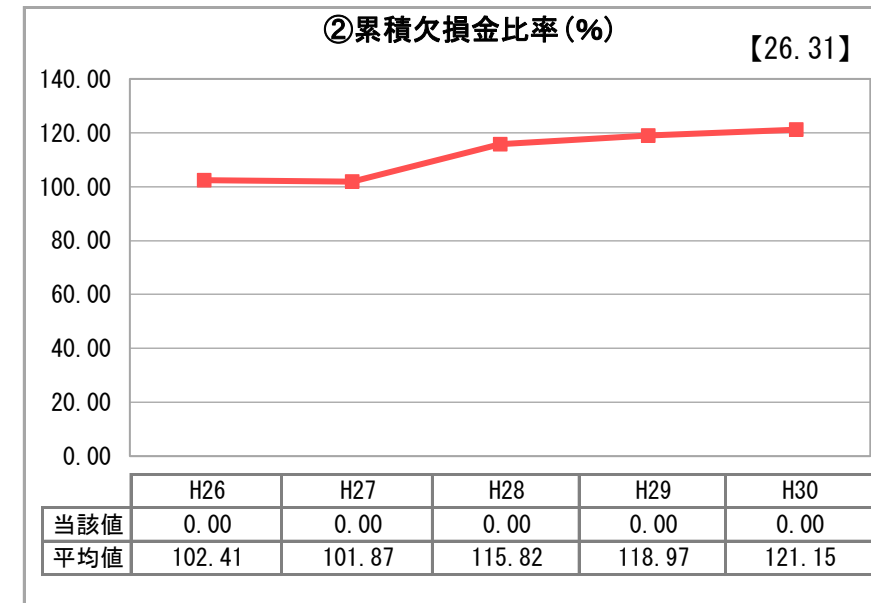
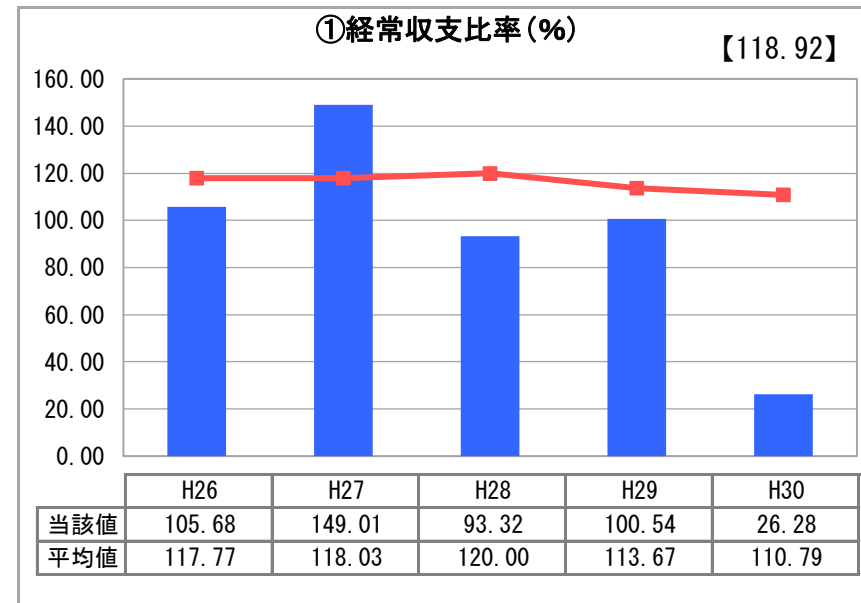
【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m ³ /日) 2,000	類似団体区分 極小規模	施設数 1	1日平均配水量(m ³) 271
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 98.7	給水先事業所数 1	契約水量(m ³ /日) 1,400	管理者の情報 非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

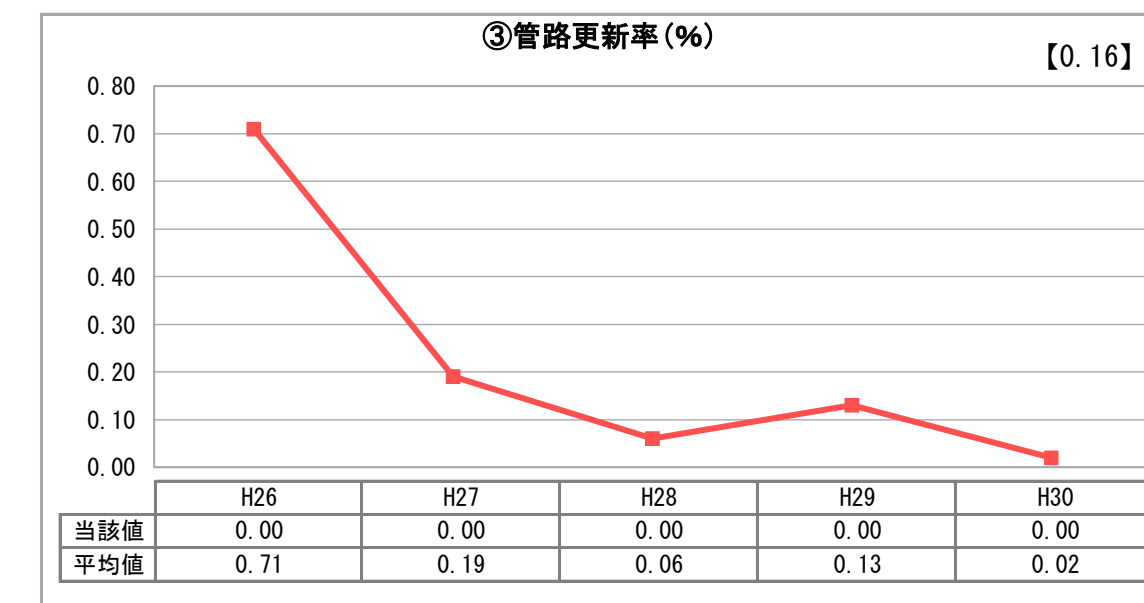
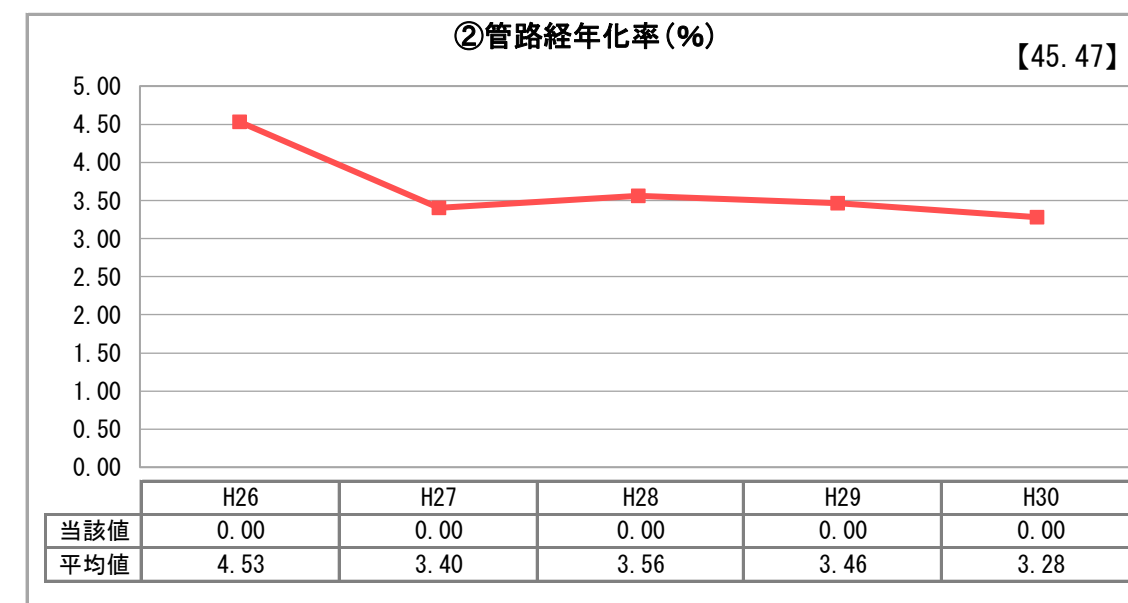
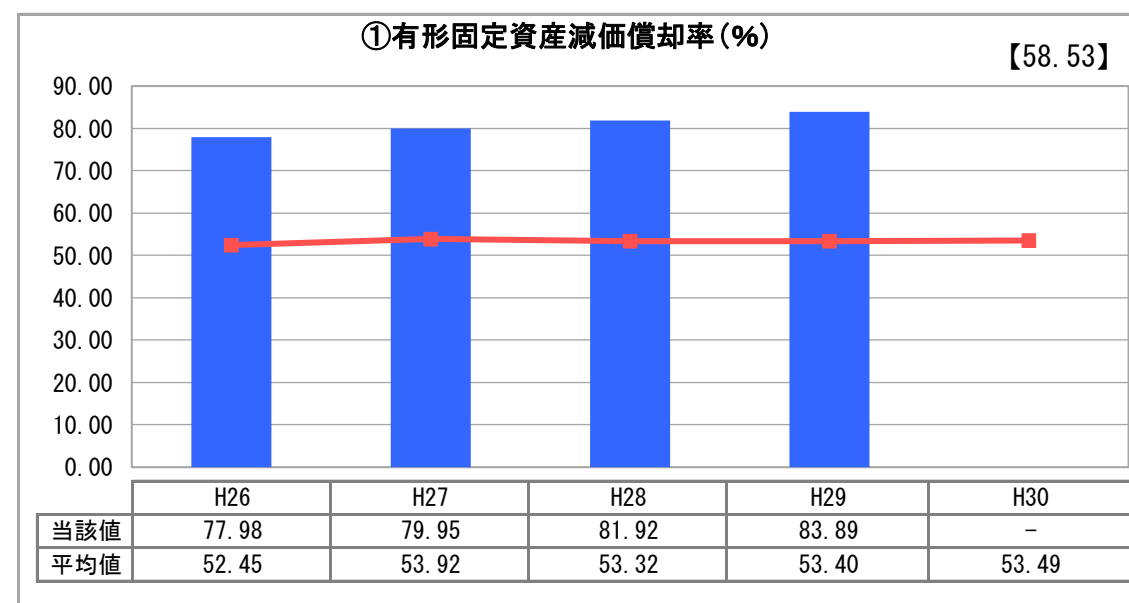
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は類似団体と比較すると高く推移している。
- ② 累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率は類似団体と比較すると高く推移している。
- ④ 企業債残高は発生していない。
- ⑤ 料金回収率は類似団体と比較すると高く推移している。
- ⑥ 給水原価は類似団体と比較すると高く推移している。これは企業の使用水量の減少が要因となっている。
- ⑦ 施設利用率は類似団体と比較すると低く推移している。これは企業の使用水量の減少が要因となっている。
- ⑧ 契約率は類似団体と比較すると高く推移している。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産原価償却率は、昭和50年代に整備された資産が多いため、類似団体と比較すると高く推移している。
- ② 法定耐用年数を超過した管は発生していない。
- ③ 老朽化した管は発生していない。

2. 老朽化の状況



全体総括

昭和56年の給水開始から企業1社に契約水量2,000m³/日の責任水量で給水し安定した給水収益を得てきた。しかし、年々使用水量の減少に伴い平成29年度に契約水量を1,400m³/日に見直し、必要水量を工業用水から地下水に代えたため、平成30年度で給水停止、事業の廃止をした。